

CASE STUDY

X
POSCO ICT



POSCO ICT、 電力需要資源(DR)取引事業プロジェクト

(写真) POSCO ICT TEO事業企画チーム チョン・ジュンホ 部長

導入製品

LAMS

(Load Aggregator's
Management System)

企業情報

会社名 : POSCO ICT

設立 : 2010年01月

本社 : 韓国京畿道城南市盆唐区板橋路
255 POSCO ICT

事業内容 : システムソフトウェア開発お
よび供給、Automation、SmartGridなど

紹介 : 製造、鉄道、交通、環境、
エネルギーなど既存の事業にICTと
Engineering融合技術を提供するPOSCO
グループのIT&Engineering専門会社

最近、冬・夏季を問わず、電力需要は増え続けている反面、電力供給設備の拡充には限界が現れてきて、電力のピーク時間帯に「ブラック・アウト（大規模の停電）」の恐れが高くなっている。これに、有効にエネルギーを管理し電力消費者が減縮した電力量を、エネルギー資源として電力市場にて取り引きできるDR(Demand Response)事業が注目を浴びている。

DR事業とは、国家が電力ピークに備えるために、エネルギー減縮を希望する企業や工場を募集。電力の需要が急増したとき、事前に約定した分の電力使用量を減縮することで、節約した稼働費用をインセンティブとして支払うというシステムとなる。

IT&Engineering専門会社であるPOSCO ICTは、今年DR事業に本格的に取り出すために、アイオンコミュニケーションズの需要管理事業者向け運用システム(LAMS : Load Aggregator's Management System)を導入した。POSCO ICT TEO事業企画チームのチョン・ジュンホ氏より、「POSCO ICT、電力需要資源(DR)取引事業プロジェクト」について詳しく伺った。

■ プロジェクトの背景・目標

POSCO ICTは、エネルギーの効率化事業に最も多く投資している企業です。最近では電力需給の問題を解決する案として、DRの取引市場を通じてPOSCO ICTの未来成長元を作り出すために今回のプロジェクトをスタートするようになりました。

本プロジェクトの目標は以下のようになります。

第一、需要資源の効率的な管理を通じた資源の信頼性を確保すること。第二、電力取引所(KPX)および電力公社(KEPCO)との円滑なシステム連動を通じて、正確な電力需要モニターリングや予測を可能とすること。第三、需要資源の取引に参加する潜在顧客に対して、より体系的かつ正確なデータ基盤情報を提供するシステムを構築すること。

■ LAMS導入の効果

電気需要の管理事業の準備にあたり、最も重要な業務の1つはLAMSを限られた期間内に問題なく構築することでした。そのためには、自社の事業目的を正しく理解してくれて、限られたリソースで事業を成功させる実力のあるパートナーを探すことが何よりも大事でした。

競争力のある開発会社の中からアイオンを選ぶようになりました。アイオンは事業の企画から開発期間、インタビューをしている今でも、最も信頼できる技術開発のパートナーだと認識させてくれました。また、当プロジェクトを通じて確認できたのは、アイオンは複雑な需要管理市場を理解していて、ユーザ側で考えて結果物を具体化する実力のあるパートナーだということです。

■ LAMS導入の効果

プロジェクトが終了したばかりで、まだ構築の効果が現れてはいませんが、アイオンのLAMSを導入することで実感したのは、韓国を含めてどこの国からも認められる優れたソリューションであることです。

また現在の需要資源取引市場で、まともなシステムを保有している業社が少ない分、顧客の要望を満たせるシステムは本プロジェクトを通じて構築されたLAMSだと思います。

成功的にプロジェクトが終了し、POSCO ICTの需要反応の参加者も正確なデータ基盤で体系的に管理され、参加した分の利益を獲得できることで、電力需要資源(DR)の取引事業も成長し続けていけると期待しています。

■ 今後の計画

POSCO ICTではDR取引事業を引き続き発展させていく予定です。プロジェクトは成功的に終了しましたが、需要資源の効率や参加顧客の管理ができるためにはまだ改善が必要なため、今後の計画についてもアイオンと引き続き議論していきたいと思っています。加えてPOSCO ICTが別のDR事業に取り出すときも、アイオンと進めたいと思います。

■ POSCO ICTプロジェクト(2015年04～06月/3ヶ月間)まとめ

プロジェクトの背景	● 供給中心の電力需給問題を解決する案として、DR取引市場でPOSCO ICTの未来成長元の創出
プロジェクトの目標	● 1. 需要資源の効率的な管理を通じて資源の信頼性を確保 2. KPXおよびKEPCOとのシステム連動で、正確な電力需要モニターリングや予測が可能とする 3. 需要資源の取引市場に参加する潜在顧客に、より体系的かつ正確なデータ基盤のリアルタイム情報を提供
LAMS導入の理由	● 1. 限られた期間内にLAMSを問題なく構築できる 2. POSCO ICTの事業の目的に符合し、事業意志と能力、信頼できる技術開発の能力を保有 3. 複雑な需要管理市場を理解していて、ユーザ面で結果物を具体化できるパートナー
LAMS導入後の効果	● 顧客の要望事項を満たし、需要反応の参加顧客が正確なデータ基盤の体系的な管理されることで、参加した分の利益を得ることができる